

会員の皆様へ

1. 1999年度研究会賞

本年度の根研究会学術功労賞に山下正隆氏（農林水産省九州農業試験場畑地利用部）「茶樹の根群に関する栽培学的研究」と今市涼子氏（日本女子大学理学部）「シダ植物小葉類の担根体、マツバランの地下茎の器官進化に関する研究」、奨励賞に大橋瑞江氏（九州大学農学部）「森林における土壌呼吸の変動要因に関する研究」と泉泰弘氏（滋賀県立大学環境科学部）「水稻根系の表現型変異に関する研究」、特別賞に小柳敦史氏（農林水産省農業研究センター）「根の深さ指数」による根系の定量化が決まりました。受賞者の方々におかれましては誠にありがとうございました。また、推薦や審査に関わっていただきました会員や評議員の方々にはこの場を借りてお礼申し上げます。誠にありがとうございました。詳細は88ページをご覧ください。

2. 第12回根研究集会

第12回研究集会を11月6日（土）に滋賀県立大学環境科学部で開催します。なお上記の研究会賞の受賞講演および授賞式もあわせて行います。講演申し込み締め切りは9月30日です。詳細は本号カレンダー、および8巻2号77ページをご覧ください。

次回以降の研究集会としては、来年5月下旬～6月上旬に農林水産省野菜・茶業試験場での開催が予定されています。詳細が決まり次第本誌等にてお知らせします。これ以外に研究集会をお引き受け下さる方を募集しています。事務局までご連絡下さい。

3. 次期会長

次ページの公示をご参照いただければと存じますが、次期（2000年—2001年度）会長の選挙に立候補させていただきまして、他に立候補をされた方がおられませんでしたので、当選ということになりました。誠に僥越ですがどうぞよろしく願い申し上げます。次期の執行部の体制につきましては、会員の皆さんからのご意見を伺いつつ、決めていきたいと思っています。依頼が行きました場合には、なにとぞご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

4. 会誌の内容・体裁

お気づきのことと思いますが、今号では、実験技術を紹介する「技術ノート」という新しい論文のカテゴリーを設けました。会員の方々の中にもこの領域での情報を求めておられる方も多いかと思えます。今後、このような情報が欲しいなどのご要望や、執筆者の紹介（自薦、他薦を問わず）を積極的にお願ひします。また、会告にありますように、次号については電子投稿を試験的に受け付けることを考えています。これまでも一部の方にはお願いしておりましたが、今回はできるだけ多くの原稿をこれで受け付けようと考えています。ねらいは、原稿作成の簡便化・迅速性、本誌の体裁の統一性をとることです。執筆者の方には原稿作成要領に可能な限り忠実に従っていただいているところですが、使用しているソフトやパソコン・プリンター機種が異なる以上、統一性には限界があります。事務局の方で体裁を整え統一した上で印刷し、掲載論文・記事間の書式、体裁の統一性をはかっていきたいと考えています。これについては、皆さんのご意見をお寄せいただければ幸いです。

1999年9月 会長 山内 章